

2008年1月24日

株式会社日本医療データセンター

報道関係各位

日本医療データセンター 『JMDC データで読むヘルスケアレポート』 vol. 2

メタボリック健診、「リスクあり」に男女の格差
～要注意項目 男性は「体重」、女性は「悪玉コレステロール」～

医療データベースの構築・分析及び健康保険組合へのソリューション提供を行う、株式会社日本医療データセンター（東京都千代田区、代表取締役：木村 真也）は、健康診断データからの分析により、血液検査や体重の数値で、「リスクあり」とされる人の比率が男女で大きな差が生じていることを発表しました。

この結果は、日本医療データセンターが契約する複数の健康保険組合の加入者のうち、30～50代の男性 43,606人、女性 13,056人の健康診断のデータを、2006年に厚生労働省が発表した「標準的健診・保健指導プログラム」*に記載される基準に従い、BMI・血糖・血圧・脂質検査別に、リスク基準値以上の人の人数を集計、男女別に分析した結果判明しました。男性では、3人に1人がBMI値が25を超えており、加齢に伴い、血圧や血糖系検査でも高い比率を示す傾向にあります。しかし、女性では同じ検査項目におけるリスク保有者の割合は男性と比較して低いにもかかわらず、「高脂血症リスク因子」のひとつ LDL コレステロール値が、顕著な高さを示し、50代でおよそ4割がリスク保有者となってしまうことが分かりました。

*「標準的健診・保健指導プログラム」に記載されている病院受診勧奨レベル

（肥満リスク） BMI25 以上

（糖尿病リスク） 空腹時血糖 126mg/dl 以上 HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー） 6.1%以上

（高血圧リスク） 最高血圧 140mmHg 以上 最低血圧 90mmHg 以上

（高脂血症リスク）中性脂肪 300mg/dl 以上 HDL コレステロール 34mg/dl 以下 LDL コレステロール 140mg/dl 以上

この分析から、北里大学医学部 佐藤敏彦准教授（公衆衛生学）は、以下のようにコメントしています。

「メタボリック症候群の予防には、男性は、まずは日々の体重測定を習慣化すること、女性はコレステロールのバランスを保つ働きがある女性ホルモンの分泌が減少する閉経時期に備え、LDL コレステロール値を健康診断でチェックしておく必要性を示しています。特に若いうちからコレステロールが高めの方は、日常生活で食事や運動に気をつけておく必要があるでしょう。医療機関の協力のもとで、男女それぞれ危険因子削減の計画をたてることにより、一層効果的な予防策が可能になればと思います」

以上

男性の各メタボリスク因子の保有率

男性（健診受診者43606人）		30代	40代	50代
肥満リスク	BMI(25以上)	27.2%	32.0%	29.2%
糖尿病リスク	空腹時血糖(126mg/dl以上)	2.9%	5.2%	10.8%
	HbA1c(6.1%以上)	1.1%	4.2%	10.3%
高血圧リスク	最高血圧(140mmHg以上)	10.2%	15.5%	24.9%
	最低血圧(90mmHg以上)	4.9%	12.1%	17.7%
高脂血症リスク	中性脂肪(300mg/dl以上)	4.3%	6.7%	5.4%
	HDLコレステロール(34mg/dl以下)	2.7%	2.9%	2.5%
	LDLコレステロール(140mg/dl以上)	18.4%	26.3%	28.1%

男性は
体重に注意!

■ 10~15%未満 ■ 15%以上

女性の各メタボリスク因子の保有率

女性（健診受診者13056人）		30代	40代	50代
肥満リスク	BMI(25以上)	10.6%	14.7%	18.8%
糖尿病リスク	空腹時血糖(126mg/dl以上)	0.9%	1.2%	3.4%
	HbA1c(6.1%以上)	0.4%	1.2%	4.6%
高血圧リスク	最高血圧(140mmHg以上)	1.6%	4.9%	14.7%
	最低血圧(90mmHg以上)	1.1%	3.7%	9.0%
高脂血症リスク	中性脂肪(300mg/dl以上)	0.3%	0.4%	0.7%
	HDLコレステロール(34mg/dl以下)	0.4%	0.2%	0.5%
	LDLコレステロール(140mg/dl以上)	6.4%	16.2%	38.7%

*各メタボリスク因子保有率は、厚生労働省が2006年に発表した「標準的健診・保健プログラム」に記載されている「病院受診勧奨レベル」の基準値をもとに分析しています。

女性は
LDLコレステロールに注意!

■ 10~15%未満 ■ 15%以上

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社日本医療データセンター ヘルスケア事業部 担当 小沼・岸村

メールアドレス:FAQ@jmdc.co.jp (TEL):03-3511-6781 (FAX):03-3511-6782

■ 関連情報

メタボリックシンドローム対策レシピ「Pep! eco-recipe(エコレシピ)vol.8」に詳しい情報が掲載されています。

エコレシピの詳細はこちら:<http://www.jmdc.co.jp/eco-recipe>

◇JMDC データで読むヘルスケアレポートとは

JMDC データで読むヘルスケアレポートは、株式会社日本医療データセンターが、月 1 回発表するレポートで、同社独自の技術を用いた JMDC データ**を利用して、リアルな患者のデータから、日本人の健康や疾病の傾向を分析するものです。

**JMDC データ：株式会社日本医療データセンターが約 33 万人(2007 年 11 月現在)の健康保険組合加入者から収集した健康診断の情報やレセプト情報を解析したデータ。個人を特定しないよう加工され、時系列での処理が可能のため、治療の経過などを疫学的に検証することが可能。

◇日本医療データセンター(<http://www.jmdc.co.jp/>)

レセプト(診療報酬明細請求書)には、豊富な医療情報が含まれているにもかかわらず、今までは個人情報の問題や、医療機関ごとに異なる用語やフォーマットなどにより、データとして利用することが大変難しい状況でした。2008 年 4 月には、医療制度改革に伴う健康保険法改正により、国内全ての健康保険組合に「医療費削減」を目的とした「組合員の健康増進等」が義務づけられます。

このような背景のなか、国や健康保険組合の施策に対し、改善に繋げるための「検証」というプロセスの必要性から、株式会社日本医療データセンターでは新たなメタボリックシンドローム対策のソリューションを開発。医療機関が健康保険組合に医療費請求時に使用するレセプトから、個人を特定しない医療データ生成・分析を行うことができる、日本初の会社として、健康保険組合および製薬会社などにデータ活用ソリューションを提供しています。